ハンドマイク街頭演説原稿例　２０２４年を明るい年に（新春用）

二〇二三年十二月二十八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、新年おめでとうございます。日本共産党です。２０２３年は春の統一地方選挙、夏の知事選と、いろいろとお世話になりました。日本共産党は今年も、希望ある新しい政治を実現するため、全力で頑張りますので、ご協力、ご支援をいただきますよう、お願いいたします。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　さてみなさん、昨年末には政治資金パーティー収入をめぐる自民党の裏金疑惑が大問題となりました。官房長官を含む４人の大臣が辞任し、一部の自民党幹部も交代しましたが、それで問題が終わったわけではありません。安倍派と二階派の事務所が家宅捜索を受け、年末には自民党の池田佳隆衆議院議員の国会内の事務所などが家宅捜索を受けました。強制捜査を受けた池田議員、安倍派と二階派の関係者は、事実関係を国民に説明し、真相を洗いざらい明らかにすべきです。この問題は、岸田首相も無関係ではありません。岸田首相がトップを務めていた岸田派についても疑惑が持たれています。また、自民党の党首として事態をきちんと説明し、党内処分を含めた厳しい対処が必要です。

　裏金疑惑の解明には刑事事件としての捜査だけでなく、国会の果たす役割が重要になります。国政調査権を使い、関係者を国会に呼んで証人喚問を行い、事態の全容解明と政治責任を明らかにする必要があります。日本共産党は他の野党とも協力し、この立場で全力をあげます。

　みなさん、一日も早く、自民党政治を終わらせましょう。日本共産党は市民と野党の共闘を組み立て直し、新しい政治の実現へ全力で頑張ります。

　さてみなさん、イスラエルによる中東ガザ地区への攻撃が続いています。医療施設や難民キャンプまで攻撃され、多くの被害が出ています。イスラム組織ハマスからイスラエルが無差別攻撃を受けたから自衛だ、とイスラエルは主張していますが、今イスラエルがガザ地区で行っていることは、自衛の範囲を大きく超え、国際人道法に違反するものです。日本共産党は、イスラエルの無法な攻撃を止めさせ、さらに戦争を終わらせるため、国際社会が力を尽くすことを重ねて求めます。日本政府も、戦争を止めるために力を尽くすべきです。

　ロシアのウクライナ侵略もあり、日本でも軍事力を強めるべきだという声があります。しかしみなさん、ウクライナを見てもガザ地区を見ても、一度軍事衝突が起こると、住民におびただしい被害が出るうえに、終わらせるのがたいへん難しくなります。国と国との間のもめごとを戦争にしない、話し合いで解決することこそ、日本国憲法の基本姿勢です。日本共産党はこの憲法の立場で外交に取り組むことを、岸田政権に求めていきます。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）